ベラルーシ公開情報とりまとめ

（6 月 10 日～6 月 16 日）

2024 年 6 月 20 日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ベラルーシ・露両国軍が参加する戦術核兵器の演習の第 2 段階の開始（6 月 11 日）

●ベラルーシ・露電話首脳会談（6 月 12 日）

●駐ベラルーシ・アルメニア大使の召還（6 月 13 日）

【ルカシェンコ大統領動静】

●ベラルーシ・露電話首脳会談

・6 月 12 日の「ロシアの日」に寄せた電話会談。

・地域情勢、経済、防衛・安全保障、両国の域外における協力、二国間関係等を協議。

（6 月 12 日　大統領府）

●習近平・中国国家主席の誕生日に寄せたルカシェンコ大統領の祝電

祝電の概要は以下のとおり。

・現在の中国が内政でも外交でも成功を収めているのは、習近平国家主席の指導の賜物。

・ベラルーシは、人類運命共同体・「グローバル安全保障イニシアチブ（GSI）」・「グローバル文明イニシアチブ（GCI）」等の習近平国家主席の各種イニシアチブの実現に向け、引き続き協力。

・7 月 4 日にアスタナで開催予定の上海協力機構（SCO）加盟国首脳会談における二国間会談を希望。

（6 月 15 日　大統領府）

【外交】

●ポーランドは、在留ベラルーシ人の中等教育証明書の承認手続きを簡素化

・ポーランドは、教育文書の承認に関する同国との協定を破棄した国（ベラルーシを含む）で教育に関する文書を取得した者に対し、行政手続きを通じて証明書または同等の文書を承認することを決定。

（6 月 10 日　Reform.by）

●駐ベラルーシ・アルメニア大使の召還

・6 月 13 日、バダリャン・アルメニア外務省報道官は、フマリャン駐ベラルーシ・アルメニア大使が協議のため召還された旨発表。

・同日、パシニャン・アルメニア首相は、ルカシェンコが大統領である限り、自身もまたいかなる者もアルメニアを代表してベラルーシを訪問することはない旨発言。

・またパシニャン首相は、独立国家共同体（CIS）及びユーラシア経済同盟（EAEU）を通じた接触はあり得る旨付言。

・同日、ベラルーシ外務省は、本件に関するグラス外務報道官の談話を発表。グラス報道官は、アルメニアの内政状況の緊迫は理解できるとしつつも、誰かが国外の敵によって国内の問題から注意を逸らせようとしているなら、それは近視眼的であるとして批判。

・同報道官は、状況を説明させるために在ベラルーシ・アルメニア大使館の代表者を外務省に召喚したこと、近日中に駐アルメニア大使を召還することも言及。

（6 月 13 日　ポジルク、外務省）

●米国による対ベラルーシ制裁の拡大

・新たに、「ベラルーシゴム技術」社他、ベラルーシの 5 つの企業とその代表らを制裁対象に追加。

（6 月 13 日　米国国務省）

●ベラルーシは 6 月末にルーマニアで開催予定の欧州安全保障協力機構（OSCE）議員会議に招待されず

・フィリプ・ルーマニア外務省報道官の発言によるもの。

・ロシアも同様に招待されない。

（6 月 15 日 「ゼルカロ（鏡）」）

【内政】

●2024 年 5 月に政治的理由で有罪判決を受けた人

は少なくとも 145 人
（6 月 13 日　人権団体「ヴァスナ（春）」）

●6 月 14 日現在の政治犯の数は 1,406 人
（6 月 14 日　人権団体「ヴァスナ（春）」）

【軍事・安全保障】
●ベラルーシ・露両国軍が参加する戦術核兵器の演習の第 2 段階の開始
・6 月 11 日、露国防省は、ベラルーシ・露両国軍が参加する戦術核兵器の演習の第 2 段階を開始した旨発表。
・前日の 10 日、フレニン国防大臣は、西側諸国からウクライナに供与された兵器による露領内に対する攻撃の可能性に言及した上で、ベラルーシ軍が戦術核兵器の使用に関するロシア軍の演習の第 2 段階に参加することは、自国の安全保障のための計画に則った行動である旨強調。
（6 月 11 日　ポジルク）

●ルキヤノヴィチ空軍・防空軍司令官一行の中国訪問
・6 月 11 日～13 日にかけて、ルキヤノヴィチ空軍・防空軍司令官一行は北京にて、中国人民解放軍空軍の代表者らと会談。会談では、二国間の軍事面での協力が検討されるとともに、その会談の進展の方針が明確にされた。
・またベラルーシ軍一行は、中国の軍事インフラ及び軍産複合企業を訪問。
（6 月 12 日　国防省）

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み
（6 月 10 日～6 月 16 日）
・リトアニア国境警備局は少なくとも 6 人を阻止。
・ラトビア国境警備隊は少なくとも 193 人を阻止。
・ポーランド国境警備隊は少なくとも 990 人を阻止。
（6 月 11 日～6 月 17 日　ポジルク）

【抗議勢力の動き】
●チハノフスカヤ民主勢力代表のワシントン訪問（6 月 11 日～14 日）
・G7 諸国の大使や外交官らと会談。ベラルーシの学生向けの奨学金やベラルーシ政権への圧力の強化、アラブ首長国連邦を含む第三国におけるルカシェンコの資産の凍結等につき協議。
・ペロシ元米国下院議長、サリバン米国国家安全保障担当大統領補佐官らとそれぞれ会談。
（6 月 17 日　チハノフスカヤ氏公式サイト）

【統計等】
●2023 年末時点での医療関係者に関する統計

医師	5 万 5,800 人
	うち、開業医：4 万 8,700 人
	うち、男性：26.2%、女性 73.8%
看護師、助産師等	12 万 5,000 人
	うち、男性：4.8%、女性 95.2%

（6 月 13 日　国家統計委員会）

（了）